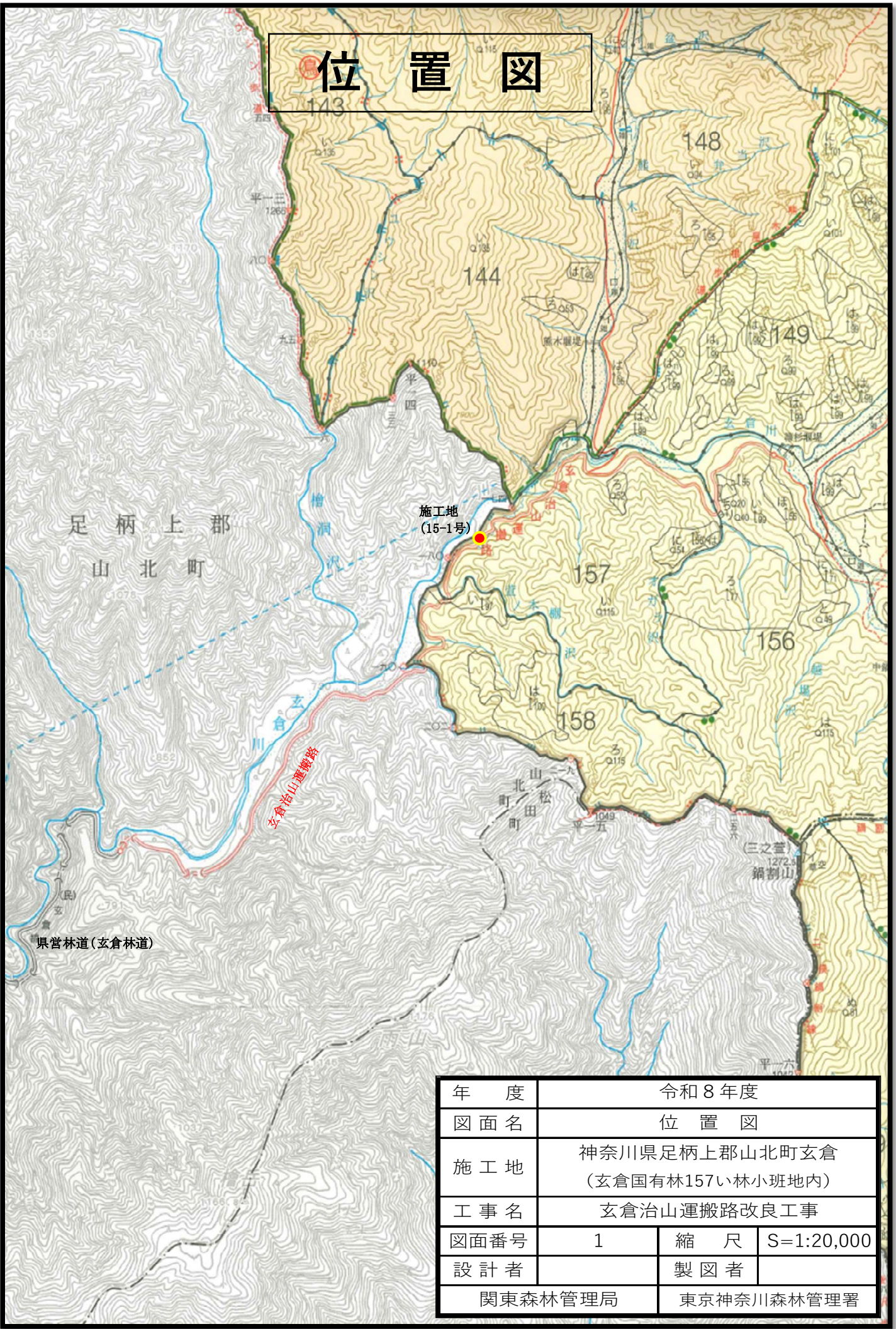


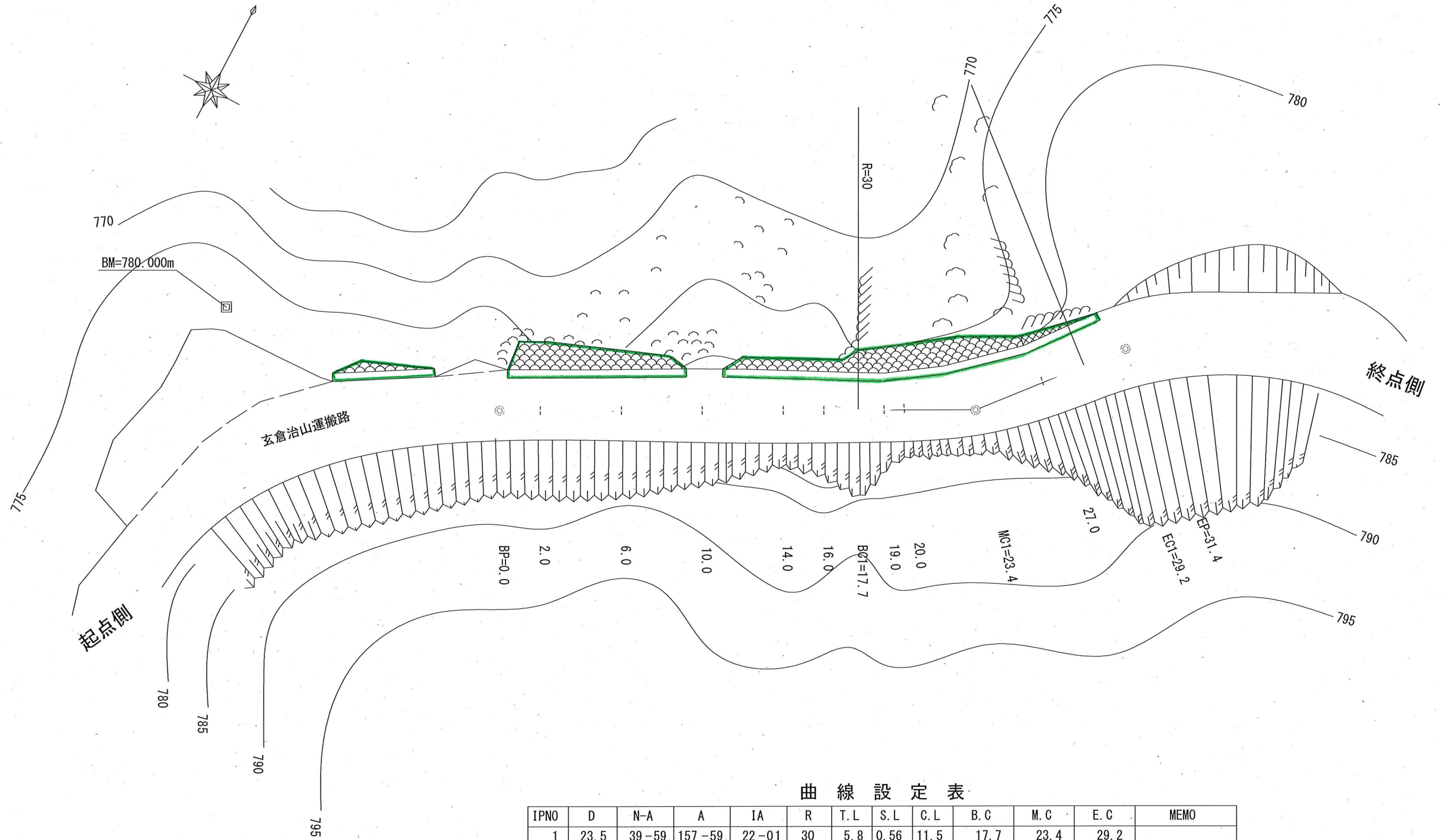


# 位置図



年 度	令和 8 年度		
図面名	位 置 図		
施 工 地	神奈川県足柄上郡山北町玄倉 (玄倉国有林157い林小班地内)		
工 事 名	玄倉治山運搬路改良工事		
図面番号	1	縮 尺	S=1:20,000
設 計 者		製 図 者	
関東森林管理局		東京神奈川森林管理署	

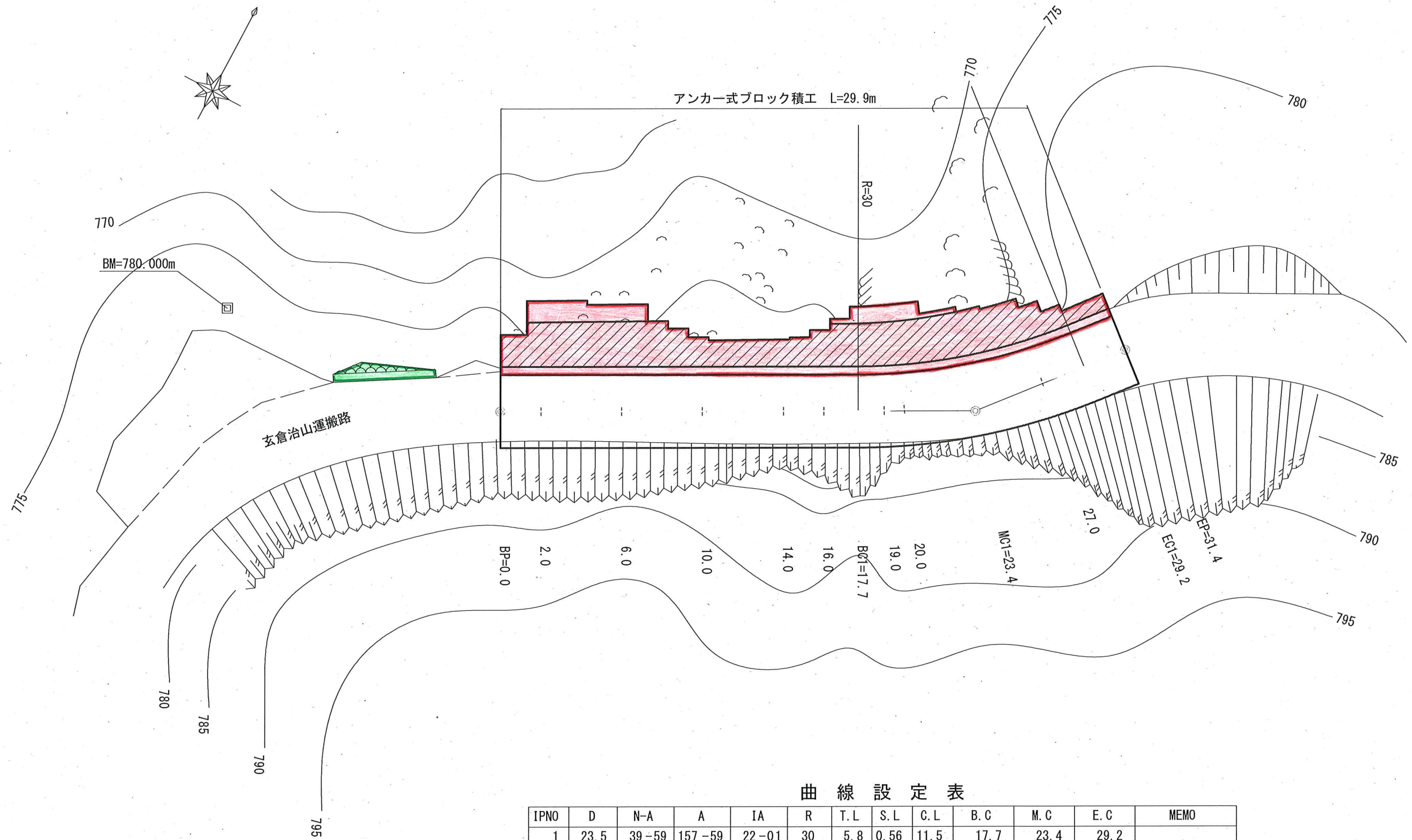
平面図縮尺二〇〇分之一



曲線設定表

IPNO	D	N-A	A	IA	R	T.L	S.L	C.L	B.C	M.C	E.C	MEMO
1	23.5	39-59	157-59	22-01	30	5.8	0.56	11.5	17.7	23.4	29.2	

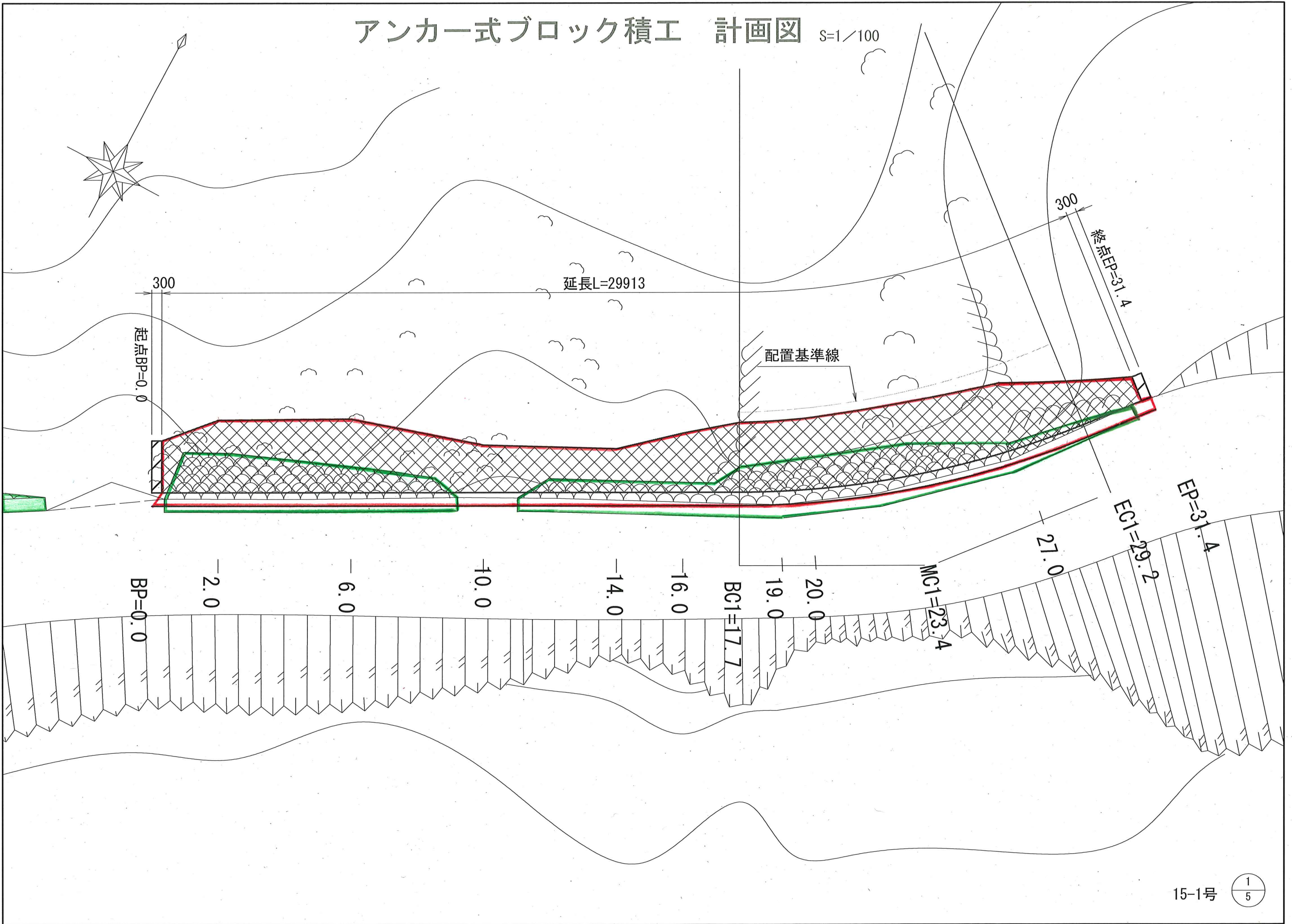
工種配置図縮尺二〇〇分之一



曲線設定表

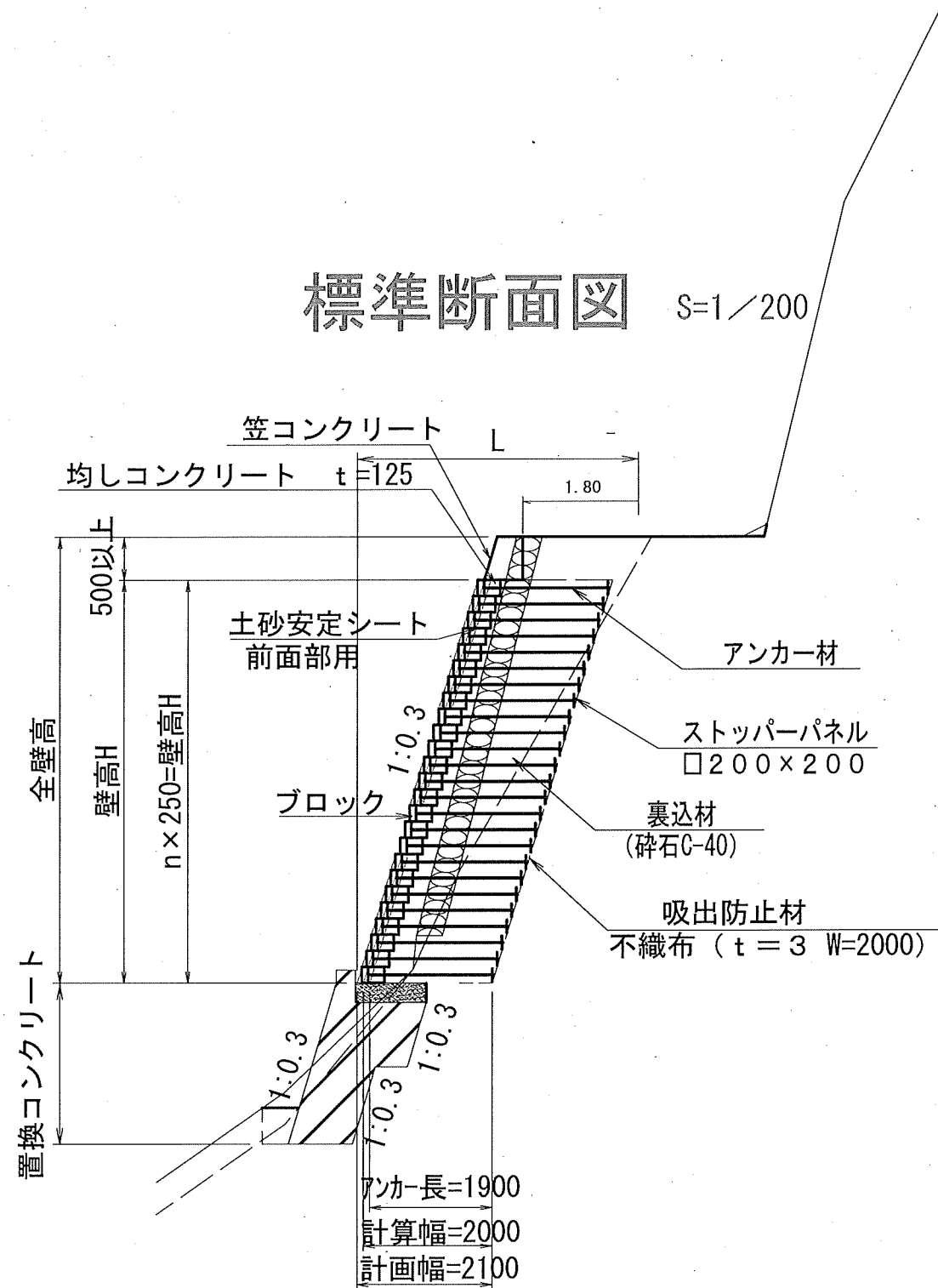
IPNO	D	N-A	A	IA	R	T.L	S.L	C.L	B.C	M.C	E.C	MEMO
1	23.5	39-59	157-59	22-01	30	5.8	0.56	11.5	17.7	23.4	29.2	

# アンカー式ブロック積工 計画図 S=1/100



# アンカー式ブロック積工 計画図

## 標準断面図 S=1/200



## 設計条件

土質定数		裏込材	背面土
盛土材の単位体積重量		$\gamma = 20 \text{ kN/m}^3$	$\gamma = 20 \text{ kN/m}^3$
盛土材の内部摩擦角		$\phi = 35^\circ$	$\phi = 35^\circ$
盛土材の粘着力		$C = 0 \text{ kN/m}^2$	$C = 0 \text{ kN/m}^2$
活荷重		$q_L = 10 \text{ kN/m}^2$	
雪荷重		考慮しない	
設計水平震度		考慮しない	
擬似擁壁の外的安定	単位	常時	地震時
地盤反力	$\text{kN/m}^2$	$Q1=210.422$	—
支持力の安全率		$F_s \geq 3.0$	—
必要な極限支持力	$\text{kN/m}^2$	$q_u = 631.266$	—

## 特記事項

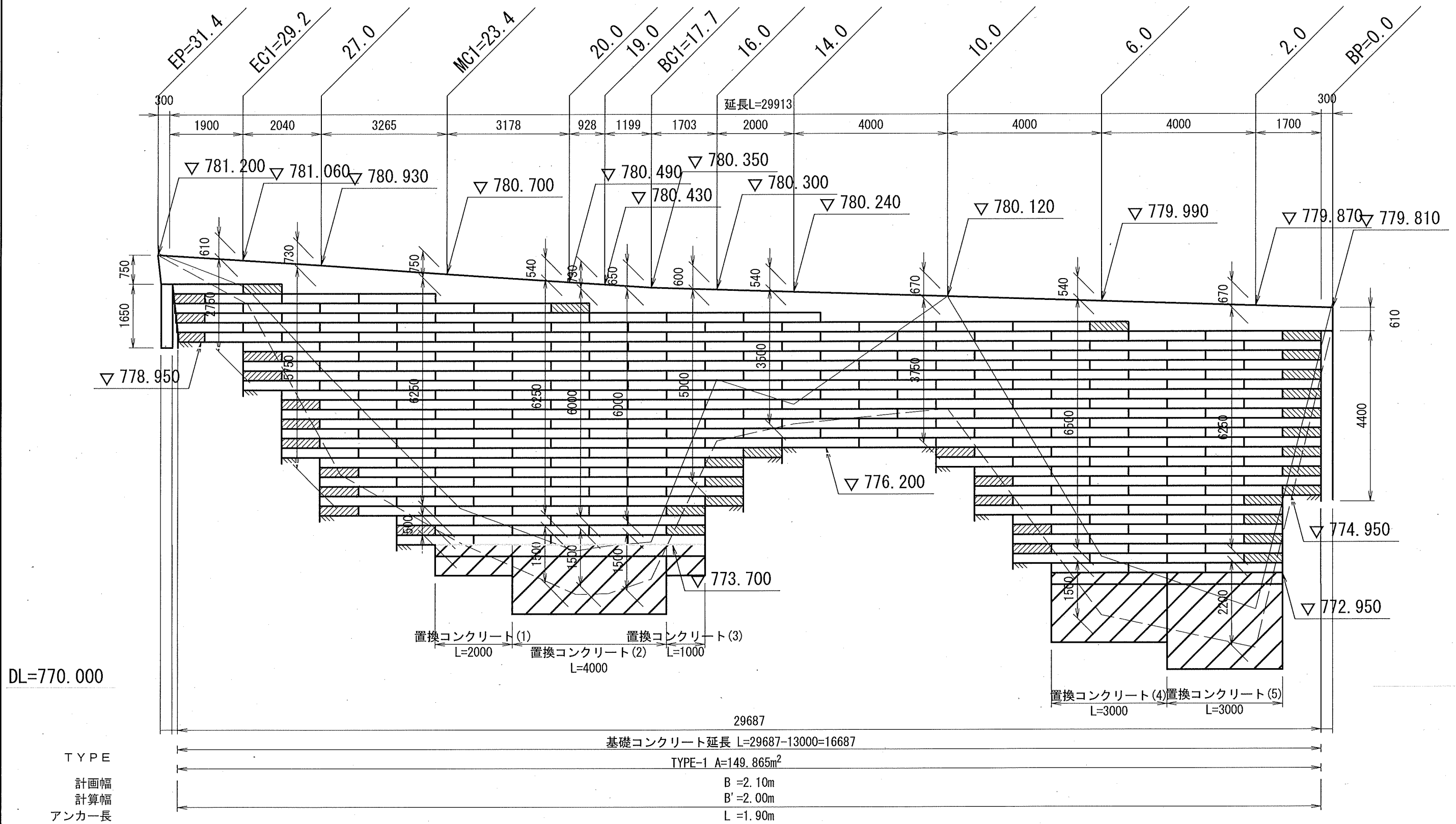
- 盛土材は以下に示す土質材料もしくは岩石質材料を使用すること。  
 (土質材料) : 細粒分の含有量が 25 % 以下のもの。  
 (岩石質材料) : 最大粒径が 200mm 以下の硬岩ずり、  
 もしくはスレーキング率 30% 以下の軟岩ずりで、  
 細粒分の含有量が 25 % 以下のもの。
- 施工時に擁壁背後の掘削面に湧水が確認された場合は、  
 設計図に示された排水工とは別に排水対策を施すこと。
- 基礎地盤の極限支持力が、上記の必要な極限支持力以上であることを確認すること。

## 施工管理基準値

項目 (頻度)	
盛土材の締固め度 (盛土材 500m <sup>3</sup> に 1回)	<ul style="list-style-type: none"> <li>JIS A 1210のA, B法による最大乾燥密度の95%以上又は、C, D, E法による90%以上とする。</li> <li>細粒分含有量が多い場合 (20%以上) で上記締固め度が得られない場合は、空気間隙率を13%以下とする。</li> <li>岩石質盛土材の場合は、工法規定方式で管理するものとする。</li> </ul>

基礎コンクリート工	単位	常時	地震時
地盤反力	$\text{kN/m}^2$	$Q1=242.413$	—
支持力の安全率		$F_s \geq 3.0$	—
必要な極限支持力	$\text{kN/m}^2$	$q_u = 727.239$	—

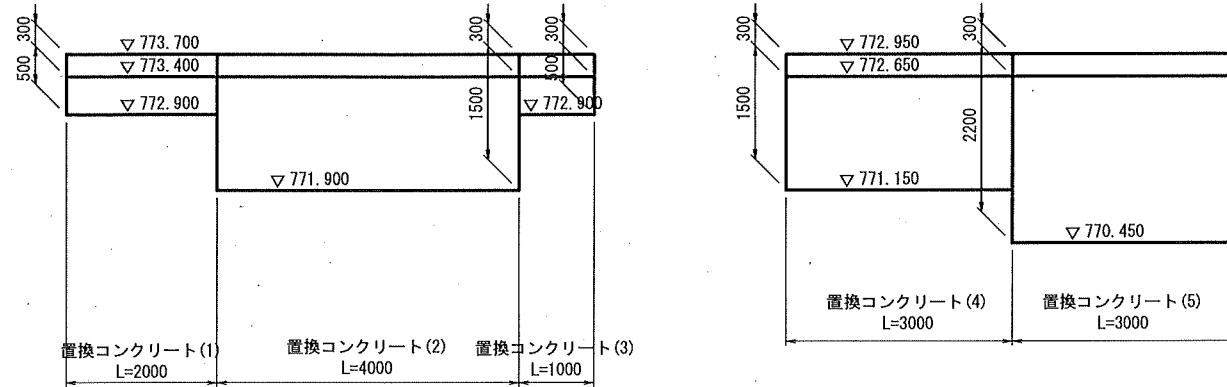
# アンカー式ブロック積工 計画図 (展開図) S=1/100



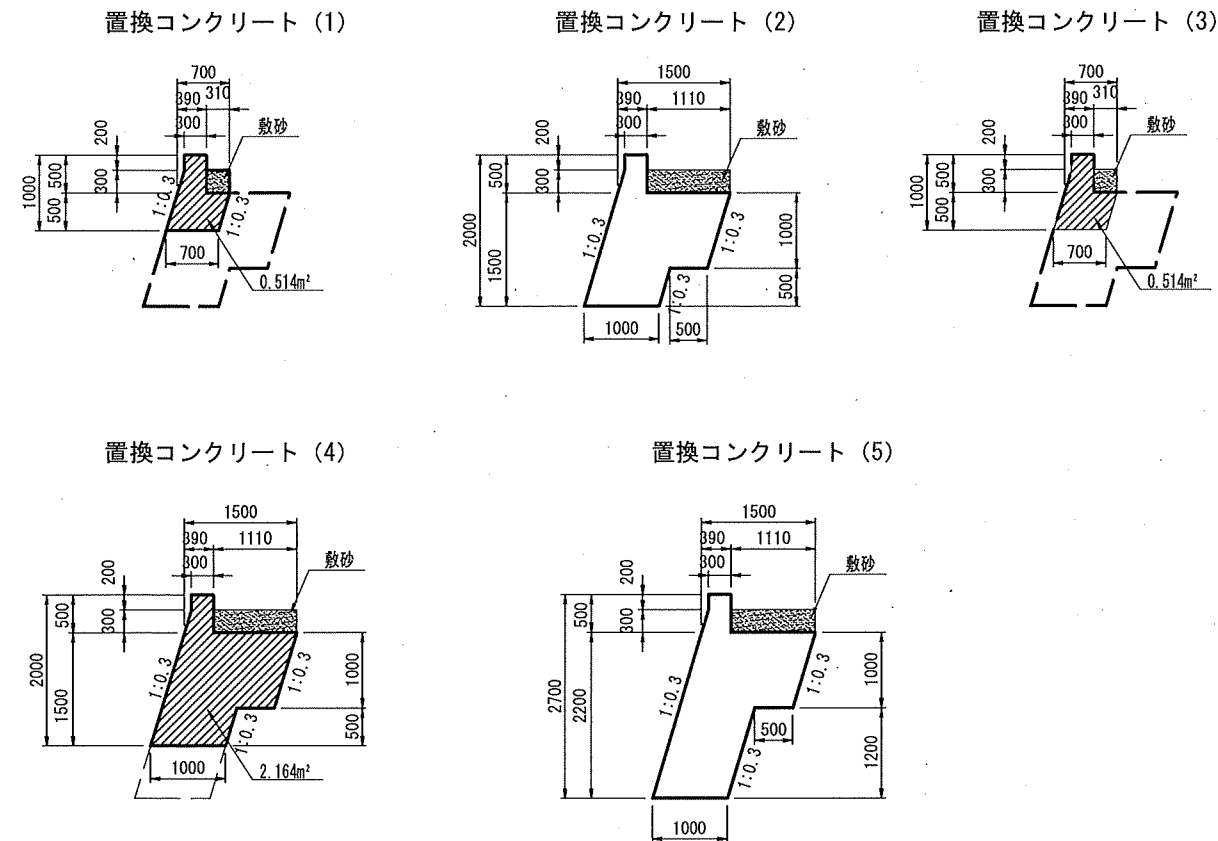
- 注:
- は、現況地盤線を表す。
  - - - は、埋戻し線を表す。
  - は、標準ブロックを示す。
  - ▨ は、左端部ブロックを示す。
  - ▩ は、右端部ブロックを示す。

# アンカー式ブロック積工計画図 (置換コンクリート詳細図)

正面図 S=1/100



断面図 S=1/100



標準断面図 S=1/100

